

国語 科 1 年 現代の国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	現代の国語	対象	スポーツ コース	単位数 2 単位
教科書	「精選現代の国語」 出版社 東京書籍			
副教材	「精選現代の国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「品詞別 頻出漢字マスター 3000」 (尚文出版), 「新版三訂 ニューエイジ現代文 基礎1」 (第一学習社)			

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとする。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
4	ガイダンス	・高校での学習や目標について理解する。 【予習復習体験学習】			○	1
	基礎学力到達度テスト 概観	・「基礎学力到達度テスト」の問題構成や内容について理解し、過去問題に取り組む。			○	1
	【基礎学力到達度テスト】 問題集「ニューエイジ基礎1」	・問題集の利用方法を理解し、取り組む。	○		○	1
5	1 自己と他者 「まだ知らない自分に出会う」 ○〈評論の読み方〉P.18～21	・自己の体験に照らしながら評論を読み、読書や対話の持つ創造性について考える。 ・評論の構造や読み方のポイントを理解する。	○	○	○	4
	【1学期中間考査】 「まだ知らない自分に出会う」、5月連休課題					
6	実用文を読む —公園のバリアフリー	・公園のバリアフリーに関する実用文を正確に読み取り、バリアフリーについて考えを深める。	○	○	○	4
	4 ともに生きる 「共鳴し引き出される力」	・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。	○	○	○	5
7	【1学期期末考査】 「共鳴し引き出される力」「実用文を読む—公園のバリアフリー」、5～6月課題					
8	スタディーサポート					
9	2 認識を深める 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	6
	○〈グラフや写真の読み取り方〉	・グラフや写真の読み取り方を学び、そこから自分の意見をまとめる。（学習課題ノートを利用）			○	2
10	【2学期中間考査】 「水の東西」、夏期休暇課題、9月課題					1
11	○ 故事成語「推敲」	・評論「白」の導入として、言語文化のテキストと関連させて理解する。 ・漢文の基礎事項を確認する。	○	○	○	7
	5 世界を広げる 「白」	・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。	○	○	○	6
	○ 人間の境界	・読んだ感想をレポートにまとめる。			○	2
12	【2学期期末考査】 「白」（「推敲」を合わせた融合問題）、10月課題					1
1	3 言葉と社会 「時間と自由の関係について」	・時間と自由の関係についての、筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。	○	○	○	6
2	基礎学力到達度テスト問題	・問題演習をとおり、1年間の振り返りを行う。（「基礎学力到達度テスト」過去問題を使用）	○	○	○	3
3	【3学期期末考査】 「時間と自由の関係について」、冬期休暇・1～2月課題					1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年 現代の国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	現代の国語	対象	進学	コース
教科書	「精選現代の国語」 出版社 東京書籍			
副教材	「精選現代の国語 学習課題ノート」 (東京書籍) , 「新総合 図説国語」 (東京書籍) , 「品詞別 頻出漢字マスター 3000」 (尚文出版) , 「新版三訂 ニューエイジ現代文 基礎1」 (第一学習社)			

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとする。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
4	ガイダンス	・高校での学習や目標について理解する。 【予習復習体験学習】			○	1
	基礎学力到達度テスト 概観	・「基礎学力到達度テスト」の問題構成や内容について理解し、過去問題に取り組む。			○	1
	【基礎学力到達度テスト】 問題集「ニューエイジ基礎1」	・問題集の利用方法を理解し、取り組む。	○		○	1
5	1 自己と他者 「まだ知らない自分に出会う」 ○〈評論の読み方〉P.18～21	・自己の体験に照らしながら評論を読み、読書や対話の持つ創造性について考える。 ・評論の構造や読み方のポイントを理解する。	○	○	○	4
	【1学期中間考査】 「まだ知らない自分に出会う」、5月連休課題					
6	実用文を読む —公園のバリアフリー	・公園のバリアフリーに関する実用文を正確に読み取り、バリアフリーについて考えを深める。	○	○	○	4
	4 ともに生きる 「共鳴し引き出される力」	・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。	○	○	○	5
7	【1学期期末考査】 「共鳴し引き出される力」「実用文を読む—公園のバリアフリー」、5～6月課題					
8	スタディーサポート					
9	2 認識を深める 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	6
	○〈グラフや写真の読み取り方〉	・グラフや写真の読み取り方を学び、そこから自分の意見をまとめる。（学習課題ノートを利用）			○	2
10	【2学期中間考査】 「水の東西」、夏期休暇課題、9月課題					1
11	○ 故事成語「推敲」	・評論「白」の導入として、言語文化のテキストと関連させて理解する。 ・漢文の基礎事項を確認する。	○	○	○	7
	5 世界を広げる 「白」 ○ 人間の境界	・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。 ・読んだ感想をレポートにまとめる。	○	○	○	6
12	【2学期期末考査】 「白」（「推敲」を合わせた融合問題）、10月課題					2
1	3 言葉と社会 「時間と自由の関係について」	・時間と自由の関係についての、筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。	○	○	○	6
2	基礎学力到達度テスト問題	・問題演習をとおり、1年間の振り返りを行う。（「基礎学力到達度テスト」過去問題を使用）	○	○	○	3
3	【3学期期末考査】 「時間と自由の関係について」、冬期休暇・1～2月課題					1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年 現代の国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	現代の国語	対象	特進	コース
教科書	「精選現代の国語」 出版社 東京書籍			
副教材	「精選現代の国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「TOP2500 三訂版」(いっずな書店), 「現代文 解放のテクニック 1 三訂版」(啓隆社), 「基礎現代文1 プラス大学入試共通テスト対策版」(尚文出版)			

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとする。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス	・高校での学習や目標について理解する。 【予習復習体験学習】			○	1
	基礎学力到達度テスト 概観	・「基礎学力到達度テスト」の問題構成や内容について理解し、過去問題に取り組む。			○	1
	【基礎学力到達度テスト】 問題集「現代文 解放のテクニク1 三訂版」	・問題集の利用方法を理解し、取り組む。	○		○	1
5	1 自己と他者 「まだ知らない自分に出会う」 ○〈評論の読み方〉P.18～21	・自己の体験に照らしながら評論を読み、読書や対話の持つ創造性について考える。 ・評論の構造や読み方のポイントを理解する。	○	○	○	4
	【1学期中間考査】「まだ知らない自分に出会う」、5月連休課題、「TOP2500」					
6	実用文を読む —公園のバリアフリー	・公園のバリアフリーに関する実用文を正確に読み取り、バリアフリーについて考えを深める。	○	○	○	4
	4 ともに生きる 「共鳴し引き出される力」	・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。	○	○	○	5
7	【1学期期末考査】「実用文を読む—公園のバリアフリー」、「共鳴し引き出される力」、5～6月課題、「TOP2500」					
8	スタディーサポート					
9	2 認識を深める 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	6
	○〈グラフや写真の読み取り方〉	・グラフや写真の読み取り方を学び、そこから自分の意見をまとめる。（学習課題ノートを利用）			○	2
	【2学期中間考査】「水の東西」、夏期休暇課題、9月課題、「TOP2500」					1
	○ 故事成語「推敲」	・評論「白」の導入として、言語文化のテキストと関連させて理解する。 ・漢文の基礎事項を確認する。	○	○	○	7
	5 世界を広げる 「白」	・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。	○	○	○	6
	○ 人間の境界	・読んだ感想をレポートにまとめる。			○	2
12	【2学期期末考査】「白」（「推敲」を合わせた融合問題）、10月課題「TOP2500」					1
1	3 言葉と社会 「時間と自由の関係について」	・時間と自由の関係についての、筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。	○	○	○	6
2	基礎学力到達度テスト問題	・問題演習をとおり、1年間の振り返りを行う。（「基礎学力到達度テスト」過去問題を使用）	○	○	○	3
3	【3学期期末考査】「時間と自由の関係について」、冬期休暇・1～2月課題、「TOP2500」					1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年 言語文化 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	言語文化	対象	スポーツ コース	単位数 3 単位
教科書	「精選言語文化」 出版社 東京書籍			
副教材	「精選言語文化 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」(尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「新版二訂 ニューエイジ古典 基礎1」(第一学習社)			

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたり読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
4	ガイダンス、 基礎学力到達度テスト 概観	<ul style="list-style-type: none"> ・高校での学習や目標について理解する。 ・入学前課題を用いて、問題構成や内容を理解する。（過去問題への取り組み） 			○	1
	【基礎学力到達度テスト】				○	1
5	○桜に関する作品読み比べ 「和歌・短歌」「詩」	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な形式の作品を読み、日本文化における桜のありようを探る。 ・桜についての創作活動を行う。 	○	○	○	3
	1 説話 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史的仮名遣い」の復習、ポイントを押さえた学習の仕方を学ぶ。（予習復習体験学習） 	○	○	○	2
	【1学期中間考査】 桜の「和歌・短歌・詩」、基礎学力到達度テスト、5月課題 古文単語					1
	1 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・説話の面白さを味わいながら、復習につなげる。 ・「係り結び」「確定条件・仮定条件」を理解する。 	○	○	○	3
6	○ 用言の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「準拠ノート」を利用して用言を学習する。 	○		○	7
7	【1学期期末考査】 「児のそら寝」、6月課題、古文単語					
8	スタディーサポート					1
9	2 小説 I 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・5W1Hを押さえつつ、極限状態にある主人公の心情の変化を読み取り、主題について考える。 ・原作と読み比べる。 	○	○	○	5
	1 訓読の基本 「訓読」「格言」「再読文字」	<ul style="list-style-type: none"> ・格言を用いて訓読の決まりを復習する。 	○			4
	【2学期中間考査】 「羅生門」、訓読の基本、夏期休暇・9月課題、古文単語					
10	3 歌物語 「筒井筒」(146頁6行目まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれている内容を叙述を基に的確に捉える。 ・和歌の修辞技巧を押さえ、解釈する。 ・基本的な助動詞（打消・過去・完了など）を理解する。 ・平安貴族の生活などの古典常識を理解する。 	○	○	○	6
	○和歌の解釈・修辞 (p140, 175, 176)					
	○〈古文の窓3〉(P.152)					
11	「恋愛と結婚」					
	4 日記文学 「馬のはなむけ」	<ul style="list-style-type: none"> ・かな日記文学成立の文学的意義を意識しながら、冒頭を解釈する。 ・日記文学と紀貫之について「図説国語」を用いて理解を深める。 				2
	2 寓話 「借虎威」	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開を読み取り、寓話に込められた意図について考えるとともに故事成語に興味を持つ。 				5
	3 詩文					4

	「涼州詞」「春望」	・漢詩の基本的事項を押さえながら、情景や心情を読み取る。中国の歴史的背景にも興味を持つ。				
12	【2学期期末考査】 「筒囲筒」「馬のはなむけ」「借虎威」「春望」「涼州詞」、11月課題、古文単語					1
1	6 作り物語 「天の羽衣」(187頁～)	・親しみのある作品を古典教材として味わいながら、敬語の意味・種類を理解し、覚える。	○	○	○	7
2	基礎学力到達度テスト問題	・問題演習をとおり、1年間の振り返りを行う。 (「基礎学力到達度テスト」過去問題を使用)			○	3
3	【3学期期末考査】 「天の羽衣」、冬期休暇・1～2月課題 古文単語					

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語 科 1 年 言語文化 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	言語文化	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	「精選言語文化」 出版社 東京書籍				
副教材	「精選言語文化 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」(尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「新版二訂 ニューエイジ古典 基礎1」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたり読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス, 基礎学力到達度テスト 概観 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・入学前課題を用いて、問題構成や内容を理解する。 (過去問題への取り組み)			○	1
					○	
5	○桜に関する作品読み比べ 「和歌・短歌」「詩」	・多様な形式の作品を読み、日本文化における桜のありようを探る。 ・桜についての創作活動を行う。	○	○	○	3
	1 説話 「児のそら寝」	・「歴史的仮名遣い」の復習、ポイントを押さえた学習の仕方を学ぶ。(予習復習体験学習)	○	○	○	2
	【1学期中間考査】 桜の「和歌・短歌・詩」, 基礎学力到達度テスト, 5月課題 古文単語					1
	1 「児のそら寝」	・説話の面白さを味わいながら、復習につなげる。 ・「係り結び」「確定条件・仮定条件」を理解する。	○	○	○	3
6	○ 用言の学習	・「準拠ノート」を利用して用言を学習する。	○		○	7
7	【1学期期末考査】 「児のそら寝」, 6月課題, 古文単語					
8	スタディーサポート					1
9	2 小説 I 「羅生門」	・5W1Hを押さえつつ、極限状態にある主人公の心情の変化を読み取り、主題について考える。 ・原作と読み比べる。	○	○	○	5
	1 訓読の基本 「訓読」「格言」「再読文字」	・格言を用いて訓読の決まりを復習する。	○			4
	【2学期中間考査】 「羅生門」, 訓読の基本, 夏期休暇・9月課題, 古文単語					
10	3 歌物語 「筒井筒」(146頁6行目まで) ○和歌の解釈・修辞 (p140, 175, 176) ○〈古文の窓3〉(P.152)	・描かれている内容を叙述を基に的確に捉える。 ・和歌の修辞技巧を押さえ、解釈する。 ・基本的な助動詞(打消・過去・完了など)を理解する。 ・平安貴族の生活などの古典常識を理解する。	○	○	○	6
11	「恋愛と結婚」					
	4 日記文学 「馬のはなむけ」	・かな日記文学成立の文学的意義を意識しながら、冒頭を解釈する。 ・日記文学と紀貫之について「図説国語」を用いて理解を深める。				2
	2 寓話 「借虎威」	・話の展開を読み取り、寓話に込められた意図について考えるとともに故事成語に興味を持つ。				5

	3 詩文 「涼州詞」 「春望」	・漢詩の基本的事項を押さえながら、情景や心情を読み取る。中国の歴史的背景にも興味を持つ。				4
12	【2学期期末考査】 「筒囲筒」 「馬のはなむけ」 「借虎威」 「春望」 「涼州詞」, 11月課題 古文単語					1
1	6 作り物語 「天の羽衣」 (187頁～)	・親しみのある作品を古典教材として味わいながら、敬語の意味・種類を理解し、覚える。	○	○	○	7
2	基礎学力到達度テスト問題	・問題演習をとおり、1年間の振り返りを行う。 (「基礎学力到達度テスト」過去問題を使用)			○	3
3	【3学期期末考査】 「天の羽衣」, 冬期休暇・1～2月課題, 古文単語					

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 1年 言語文化 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	言語文化	対象	特進	コース
教科書	「精選言語文化」 出版社 東京書籍			
副教材	「精選言語文化 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」(尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「漢文必携チェックノート 基本編」(桐原書店), 「三訂版 プロGRESS古文総演習 基本編」(いっぴいな書店), 「三訂版 プロGRESS漢文総演習 基本編」(いっぴいな書店)			

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたり読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、試行錯誤して粘り強い取り組みを行おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評 価 の 観 点			時 間 数
			a	b	c	
4	ガイダンス、 基礎学力到達度テスト 概観 【基礎学力到達度テスト】	<ul style="list-style-type: none"> ・高校での学習や目標について理解する。 ・入学前課題を用いて、問題構成や内容を理解する。（過去問題への取り組み） 			○	1
					○	1
5	○桜に関する作品読み比べ 「和歌・短歌」「詩」	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な形式の作品を読み、日本文化における桜のありようを探る。 ・桜についての創作活動を行う。 	○	○	○	3
	1 説話 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史的仮名遣い」の復習、ポイントを押さえた学習の仕方を学ぶ。（予習復習体験学習） 	○	○	○	2
	【1学期中間考査】	桜の「和歌・短歌・詩」、基礎学力到達度テスト、5月課題 古文単語				1
	1 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・説話の面白さを味わいながら、復習につなげる。 ・「係り結び」「確定条件・仮定条件」を理解する。 	○	○	○	3
6	○ 用言の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「準拠ノート」を利用して用言を学習する。 	○		○	7
7	【1学期期末考査】	「児のそら寝」、6月課題、古文単語				
8	スタディーサポート					1
9	2 小説 I 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・5W1Hを押さえつつ、極限状態にある主人公の心情の変化を読み取り、主題について考える。 ・原作と読み比べる。 	○	○	○	5
	1 訓読の基本 「訓読」「格言」「再読文字」	<ul style="list-style-type: none"> ・格言を用いて訓読の決まりを復習する。 	○			4
	【2学期中間考査】	「羅生門」、訓読の基本、夏期休暇・9月課題、古文単語				
10	3 歌物語 「筒井筒」（146頁6行目まで） ○和歌の解釈・修辞 (p140, 175, 176) ○〈古文の窓3〉(P.152)	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれている内容を叙述を基に的確に捉える。 ・和歌の修辞技巧を押さえ、解釈する。 ・助動詞を体系的に理解する。 ・平安貴族の生活などの古典常識を理解する。 	○	○	○	6
11	○〈古文の窓3〉(P.152) 「恋愛と結婚」					
	4 日記文学 「馬のはなむけ」	<ul style="list-style-type: none"> ・かな日記文学成立の文学的意義を意識しながら、冒頭を解釈する。 ・日記文学と紀貫之について「図説国語」を用いて理解を深める。 	○	○	○	2
	2 寓話 「借虎威」	<ul style="list-style-type: none"> ・話の展開を読み取り、寓話に込められた意図について考えるとともに故事成語に興味を持つ。 	○	○	○	5
	3 詩文	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の基本的事項を押さえながら、情景や心情を 	○	○	○	4

	「涼州詞」「春望」	読み取る。中国の歴史的背景にも興味を持つ。				
12	【2学期期末考査】 「筒囲筒」「馬のはなむけ」「借虎威」「春望」「涼州詞」, 11月課題, 古文単語					1
1	6 作り物語 「天の羽衣」(187頁～)	・親しみのある作品を古典教材として味わいながら, 敬語の意味・種類を理解し, 覚える。	○	○	○	7
2	基礎学力到達度テスト問題	・問題演習をとおり, 1年間の振り返りを行う。 (「基礎学力到達度テスト」過去問題を使用)			○	3
3	【3学期期末考査】 「天の羽衣」, 冬期休暇・1～2月課題, 古文単語					

※学習状況により, 進度・内容を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	スポーツ コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語 出版社 東京書籍			
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」(ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「新装三訂 ニューエイジ現代文 必修2」(第一学習社)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題	「ニューエイジ現代文 基礎1」 <u>25</u> ～付録（P.56～64）			○	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し、根拠を確かめながら読み、言語と自我の構造について考える。	○	○		7
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	・用意された問1～5に取り組みながら、理解を深める。	○	○		2
	【1学期中間考査】	「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題				1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え、芸術の見方について考える。	○	○		7
	◇ 参考資料	・平出隆氏，茂木健一郎氏の文章を読み，単元の理解を深める。	○	○		2
7 月	【1学期期末考査】	「ミロのヴィーナス」，同 参考資料，6月度課題				1
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
	◇ 論理の力2 「論証する力」	問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○		2
10月	【2学期中間考査】	「リスクとリスク社会」，「論証する力」，9月度課題				1
10 月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		4
11 ・ 12 月	○ 人間を見つめる 「メディアの変遷」続き	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3
	◇ コラム 「文章を読み比べる ために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて，比較により検討を深めることを学ぶ。				3
12 月	【2学期期末考査】	「分人とは何か」 「メディアの変遷」 「文章を読み比べるために」，10月度課題				1
1 ・ 2	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し，本文中の対比を押さえつつ日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10

・ 3 月	◇ 論理の力3 「要約する力」	・200字, 100字の要約に取り組む。			○	2
3 月	【学年末考査】	「日本人の美意識」 「要約する力」, 1・2月度課題				

- ※『頻出漢字マスター3000』のミニテストは、今年度は行わない。
各自で各月の課題範囲を見て、計画的に取り組むこと。
- ※ 学習の状況により、進捗・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	進学 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「新装三訂 ニューエイジ現代文 必修2」 (第一学習社)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題				○	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し，根拠を確かめながら読み，言語と自我の構造について考える。	○	○		7
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	・用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○		2
	【1学期中間考査】 「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。	○	○		7
	◇ 参考資料	・平出隆氏，茂木健一郎氏の文章を読み，単元の理解を深める。	○	○		2
7 月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」，同 参考資料，6月度課題					1
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
	◇ 論理の力2 「論証する力」	問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○		2
10 月	【2学期中間考査】 「リスクとリスク社会」，「論証する力」，9月度課題					1
10 月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		4
11 ・ 12 月	○ 人間を見つめる 「メディアの変遷」続き	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3
	◇ コラム 「文章を読み比べる ために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて，比較により検討を深めることを学ぶ。				3
12 月	【2学期期末考査】 「分人とは何か」「メディアの変遷」 「文章を読み比べるために」，10月度課題					1
1 ・ 2	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し，本文中の対比を押さえつつ日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10

・ 3 月	◇ 論理の力3 「要約する力」	・200字, 100字の要約に取り組む。			○	2
3 月	【学年末考査】	「日本人の美意識」 「要約する力」, 1・2月度課題				

- ※『頻出漢字マスター3000』のミニテストは、今年度は行わない。
各自で各月の課題範囲を見て、計画的に取り組むこと。
- ※ 学習の状況により、進捗・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	進学 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「新装三訂 ニューエイジ現代文 必修2」 (第一学習社)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	春休みの課題				○	
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2 1
5月	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 5月連休課題					1
6月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え、芸術の見方について考える。	○	○		7
	◇ 参考資料	・平出隆氏、茂木健一郎氏の文章を読み、単元の理解を深める。	○	○		2
	6月度課題				○	
7月	【1学期期末考査】 「ミロのヴィーナス」、同 参考資料、6月度課題					1
8・9月	夏休み課題				○	
	【スタディー・サポート】					1
	9月度課題				○	
10月	【2学期中間考査】 9月度課題					1
10月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	○	○		4
	10月度課題				○	
11月	○ 人間を見つめる 「メディアの変遷」 続き	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3
	◇ コラム 「文章を読み比べるために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を深めることを学ぶ。				3
12月	【2学期期末考査】 「分人とは何か」「メディアの変遷」「文章を読み比べるために」、10月度課題					1
1・2月	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し、本文中の対比を押さえつつ日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		5
	1・2月度課題				○	
3月	【学年末考査】 「日本人の美意識」、1・2月度課題					
	春休み課題				○	

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	特進 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語 出版社 東京書籍			
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」(ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	4月課題	別途連絡。			○	
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し、根拠を確かめながら読み、言語と自我の構造について考える。	○	○		1
5月	5月連休課題	別途連絡。			○	
	「相手依存の自己規定」 続き		○	○		2
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	用意された問1～5に取り組みながら、理解を深める。	○	○		2
	【1学期中間考査】	「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題				1
6月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え、芸術の見方について考える。	○	○		7
	◇ 参考資料	・平出隆氏，茂木健一郎氏の文章を読み、単元の理解を深める。	○	○		2
	6月課題	別途連絡。			○	
7月	【1学期期末考査】	「ミロのヴィーナス」，同 参考資料，6月課題				1
8月	夏休み課題	別途連絡。			○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ、内容を的確に捉え、「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		7
	◇ 論理の力2 「論証する力」	問6に取り組みながら、論証について理解を深める。	○	○		2
	9月課題	別途連絡。			○	
10月	【2学期中間考査】	「リスクとリスク社会」，「論証する力」，9月課題				1
10月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	○	○		4
	10月課題	別途連絡。			○	
11月	○ 人間を見つめる 「メディアの変遷」続き	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		3

	◇ コラム 「文章を読み比べる ために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を 深めることを学ぶ。				3
12 月	【2学期期末考査】	「分人とは何か」「メディアの変遷」 「文章を読み比べるために」、10月課題				1
1 ・ 2 月	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し、本文中の対比を押さえつつ 日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		10
	◇ 論理の力3 「要約する力」	・200字、100字の要約に取り組む。			○	2
	1・2月課題	別途連絡。			○	
3 月	【学年末考査】	「日本人の美意識」「要約する力」、1・2月課題				
	春休み課題	別途連絡。			○	

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 論理国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	論理国語	対象	特進 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	精選論理国語 出版社 東京書籍			
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」(ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	4月課題	別途連絡。			○	
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。評論の読み方について助言する。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 言語と認識 「相手依存の自己規定」	・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意し，根拠を確かめながら読み，言語と自我の構造について考える。	○	○		1
5月	5月連休課題	別途連絡。			○	
	「相手依存の自己規定」 続き		○	○		1
	◇ 論理の力1 「つなげる力」	用意された問1～5に取り組みながら，理解を深める。	○	○		1
	【1学期中間考査】	「相手依存の自己規定」，「つなげる力」5月連休課題				1
6月	○ 発見への誘い 「ミロのヴィーナス」	・表現の特徴や具体例に注目して筆者の主張を的確に捉え，芸術の見方について考える。	○	○		6
	◇ 参考資料	・平出隆氏，茂木健一郎氏の文章を読み，単元の理解を深める。	○	○		1
	6月課題	別途連絡。			○	
7月	【1学期期末考査】	「ミロのヴィーナス」，同 参考資料，6月課題				1
8月	夏休み課題	別途連絡。			○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 学問のまなざし 「リスクとリスク社会」	・対比に注意して論の展開をつかみ，内容を的確に捉え，「リスク」という概念について理解を深める。	○	○		6
	◇ 論理の力2 「論証する力」	問6に取り組みながら，論証について理解を深める。	○	○		1
	9月課題	別途連絡。			○	
10月	【2学期中間考査】	「リスクとリスク社会」，「論証する力」，9月課題				1
10月	○ 人間を見つめる 「分人とは何か」	・提示された問いに注意しながら筆者の主張を理解し，自分に引き寄せて考える。	○	○		3
	10月課題	別途連絡。			○	
11月	○ 人間を見つめる 「メディアの変遷」続き	・挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意して読み，人間関係の在り方について考えを深める。	○	○		2

	◇ コラム 「文章を読み比べる ために」	・既習の2単元の内容等を踏まえて、比較により検討を 深めることを学ぶ。				2
12 月	【2学期期末考査】	「分人とは何か」「メディアの変遷」 「文章を読み比べるために」、10月課題				1
1 ・ 2 月	○ イメージを読む 「日本人の美意識」	・古典や芸術作品等を把握し、本文中の対比を押さえつつ 日本と西欧の美意識の違いを理解する。	○	○		9
	◇ 論理の力3 「要約する力」	・200字、100字の要約に取り組む。			○	1
	1・2月課題	別途連絡。			○	
3 月	【学年末考査】	「日本人の美意識」「要約する力」、1・2月課題				1
	春休み課題	別途連絡。			○	

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画(シラバス)				
科目名	文学国語	対象	スポーツ コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」(ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」(尚文出版), 「新装三訂 ニューエイジ現代文 必修2」(第一学習社)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能)、b (思考・判断・表現)、c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	

4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。 ・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。 ・「頻出漢字マスター」第3章 ①～④に取り組む。	○	○	○	1		
	○ 問題演習					○	○	2
	【基礎学力到達度テスト】							1
	○ 小説 『山月記』					○	○	7
	◇ 文学への扉 1	・「変身ということ」を読み、関連事項に興味を持つ。 「変身と…」を読んだ感想を400字でまとめる。			○	2		
5 月	【1学期中間考査】 『山月記』, 5月連休課題					1		
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。 ・例示された短歌表現の特質を理解し、時代の変化とのかかわりを考える。	○	○		3		
	○ 短歌 12首 「モードの変遷」					○	○	6
7 月	【1学期期末考査】 「永訣の朝」, 短歌12首・「モードの変遷」, 6月度課題					1		
8 月	【スタディー・サポート】					1		
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。 ・昔男の心情を文脈に即して読み取り、評論筆者の主張について考える。	○	○		6		
	※ 関連して『伊勢物語』 第6段〈芥川〉					○	○	4
10月	【2学期中間考査】 「文学のふるさと」 「『伊勢物語』第6段, 9月度課題					1		
10 ・ 11 ・ 12 月	○ 小説 『沖縄の手記から』	・戦争中における登場人物の考えや生き方を読み取り、人間の生と死について考える。 ・関連として大岡昇平の『野火』などにも言及する。 修学旅行の平和教育につなげる。	○	○		10		
12 月	【2学期期末考査】 『沖縄の手記から』, 10月度課題					1		
1 2 3 月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。(800字)	○	○		10		
					○	2		
3 月	【3学期期末考査】 『ころ』, 1・2月課題					1		

※『頻出漢字マスター3000』のミニテストは、今年度は行わない。
各自で各月の課題範囲を見て、計画的に取り組むこと。
※学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	文学国語	対象	進学 (文系) コース	単位数	2 単位
教科書	文学国語		出版社 東京書籍		
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「新装三訂 ニューエイジ現代文 必修2」 (第一学習社)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。				1
	○ 問題演習	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。 ・「頻出漢字マスター」第3章 ①～④に取り組む。	○	○	○	2
	【基礎学力到達度テスト】				○	1
	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し、主人公の内面の	○	○		7

	◇ 文学への扉 1	苦悩について考える。 ・「変身ということ」を読み、関連事項に興味を持つ。 「変身と…」を読んだ感想を400字でまとめる。				○	2
5月	【1学期中間考査】 『山月記』, 5月連休課題						1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 詩歌「永訣の朝」 ○ 短歌12首 「モードの変遷」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。 ・例示された短歌表現の特質を理解し、時代の変化とのかかわりを考える。	○	○			3 6
7月	【1学期期末考査】 「永訣の朝」, 短歌12首・「モードの変遷」, 6月度課題						1
8月	【スタディー・サポート】						1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 評論 「文学のふるさと」 ※ 関連して『伊勢物語』第6段(芥川)	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。 ・昔男の心情を文脈に即して読み取り、評論筆者の主張について考える。	○	○			6 4
10月	【2学期中間考査】 「文学のふるさと」「『伊勢物語』第6段, 9月度課題						1
10 ・ 11 ・ 12 月	○ 小説 『沖縄の手記から』	・戦争中における登場人物の考えや生き方を読み取り、人間の生と死について考える。 ・関連として大岡昇平の『野火』などにも言及する。 修学旅行の平和教育につなげる。	○	○			10
12月	【2学期期末考査】 『沖縄の手記から』, 10月度課題						1
1 2 3 月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。(800字)	○	○		○	10 2
3月	【3学期期末考査】 『ころ』, 1・2月課題						1

※『頻出漢字マスター3000』のミニテストは、今年度は行わない。
各自で各月の課題範囲を見て、計画的に取り組むこと。

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	文学国語	対象	進学 (理系) コース	単位数	1 単位
教科書	文学国語			出版社	東京書籍
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「新装三訂 ニューエイジ現代文 必修2」 (第一学習社)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。				1
	○ 問題演習	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	【基礎学力到達度テスト】				○	1
	○ 小説 『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し、主人公の内面の	○	○		5

		苦悩について考える。				
5月	5月連休課題				○	
	『山月記』 続き ◇ 文学への扉 1	・「変身ということ」を読み、関連事項に興味を持つ。 「変身と…」を読んだ感想を400字でまとめる。	○ ○	○ ○		2 2
	【1学期中間考査】 『山月記』, 5月連休課題					1
6月	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		3
	6月度課題				○	
7月	【1学期期末考査】 「永訣の朝」, 6月度課題					1
8月	夏休み課題				○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。	○	○		6
	※ 関連して『伊勢物語』第6段〈芥川〉	・昔男の心情を文脈に即して読み取り、評論筆者の主張について考える。	○	○		4
	9月度課題				○	
10月	【2学期中間考査】 「文学のふるさと」「『伊勢物語』第6段, 9月度課題					1
	10月度課題				○	
11月・12月	○小説『山椒魚』	・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。				4
	【2学期期末考査】 『山椒魚』, 10月度課題					1
	冬休み課題				○	
1月・2月	○ 小説『こころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。 ・感想文を書く。(800字)	○	○		10
	1・2月度課題				○	2
3月	【学年末考査】 『こころ』, 1・2月度課題					1
	春休み課題				○	

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	文学国語	対象	特進 (文系) コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装版」 (尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 小説『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し，主人公の内面の苦悩について考える。	○	○		5
5月	5月連休課題	別途連絡。			○	
	『山月記』続き ◇ 文学への扉 1	・「変身ということ」を読み，関連事項に興味を持つ。 「変身と…」を読んだ感想を400字でまとめる。	○	○		2
			○		○	2
	【1学期中間考査】	『山月記』，5月連休課題				1
6月	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと，それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		3
	○ 短歌 12首 「モードの変遷」	・例示された短歌表現の特質を理解し，時代の変化とのかわりを考える。	○	○		6
	6月課題	別途連絡。			○	
7月	【1学期期末考査】	「永訣の朝」，短歌12首・「モードの変遷」，6月課題				1
8月	夏休み課題	別途連絡。			○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら，筆者の主張を的確に捉え，理解を深める。	○	○		6
	※ 関連して『伊勢物語』第6段（芥川）	・昔男の心情を文脈に即して読み取り，評論筆者の主張について考える。	○	○		4
	9月課題	別途連絡。			○	
10月	【2学期中間考査】	「文学のふるさと」「『伊勢物語』第6段，9月課題				1
10月	○ 小説 『沖繩の手記から』	・戦争中における登場人物の考えや生き方を読み取り，人間の生と死について考える。	○	○		4
	10月課題	別途連絡。			○	
11月	○ 小説 『沖繩の手記から』続き	関連として大岡昇平の『野火』などにも言及する。 修学旅行の平和教育につなげる。	○	○		6
12月	【2学期期末考査】	『沖繩の手記から』，10月課題				1
1月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し，場面展開に即した心理描写を読み取り，教科書採択部分の主題について考える。	○	○		10

2 月		・感想文を書く。(800字)			○	2
	1・2月課題	別途連絡。			○	
3 月	【学年末考査】	『ころ』, 1・2月課題				
	春休み課題	別途連絡。			○	

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 文学国語 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	文学国語	対象	特進 (理系) コース	単位数 1 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍			
副教材	「文学国語 学習課題ノート」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍), 「頻出漢字マスター3000」 (尚文出版), 「錬成現代文 2プラス 大学入学共通テスト対策 新装版」 (尚文出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関わる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 小説『山月記』	・登場人物の心理を表現に即し把握し、主人公の内面の苦悩について考える。	○	○		4
5月	5月連休課題	別途連絡。			○	
	『山月記』続き ◇ 文学への扉 1	・「変身ということ」を読み、関連事項に興味を持つ。 「変身と…」を読んだ感想を400字でまとめる。	○	○		2
			○		○	1
	【1学期中間考査】	『山月記』，5月連休課題				1
6月	○ 詩歌「永訣の朝」	・最愛の妹の死に臨む悲しみと、それを通し得た生きる方向性を読み取る。	○	○		2
	○ 短歌 12首 「モードの変遷」	・例示された短歌表現の特質を理解し、時代の変化とのかかわりを考える。	○	○		5
	6月課題	別途連絡。			○	
7月	【1学期期末考査】	「永訣の朝」，短歌12首・「モードの変遷」，6月課題				1
8月	夏休み課題	別途連絡。			○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 評論 「文学のふるさと」	・本文中の例『伊勢物語』第6段を並行して読みながら、筆者の主張を的確に捉え、理解を深める。	○	○		5
	※ 関連して『伊勢物語』第6段（芥川）	・昔男の心情を文脈に即して読み取り、評論筆者の主張について考える。	○	○		3
	9月課題	別途連絡。			○	
10月	【2学期中間考査】	「文学のふるさと」「『伊勢物語』第6段，9月課題				1
10月	○ 小説 『沖繩の手記から』	・戦争中における登場人物の考えや生き方を読み取り、人間の生と死について考える。	○	○		3
	10月課題	別途連絡。			○	
11月	○ 小説 『沖繩の手記から』続き	関連として大岡昇平の『野火』などにも言及する。 修学旅行の平和教育につなげる。	○	○		5
12月	【2学期期末考査】	『沖繩の手記から』，10月課題				1
1月	○ 小説『ころ』	・登場人物の関係を把握し、場面展開に即した心理描写を読み取り、教科書採択部分の主題について考える。	○	○		9

2 月		・感想文を書く。(800字)			○	1
	1・2月課題	別途連絡。			○	
3 月	【学年末考査】	『ころ』, 1・2月課題				1
	春休み課題	別途連絡。			○	

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	古典探究	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「新装二訂 ニューエイジ古典 必修2」 (第一学習社), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」 (数研出版)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方, 感じ方, 考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方, 感じ方, 考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題				○	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の学習を見通し，授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートに取り方に助言を行う。 ・「基礎学力到達度テスト」対策として，問題演習を行う。 				1
	○ 問題演習 【基礎学力 到達度テスト】		○ ○ ○	○ ○ ○		2 1
	○ 説話 「小野篁，広才のこと」	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し，口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを，展開に即して読み味わう。 	○ ○	○ ○		9
	【1学期中間考査】 「小野篁，広才のこと」，5月連休課題，古文単語325					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 随筆『枕草子』 「宮に初めて参りたる ころ」	<ul style="list-style-type: none"> ・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して，口語訳する。 ・日記的章段の特徴を押さえつつ，初宮仕え時における清少納言の緊張感・感性・観察眼の鋭さを味わう。 ・しっかり訓読し，使役・抑揚・反語等の句法を意識する。 ・たとえ話を的確にとらえることで，結論を読み取る。 	○ ○	○ ○		8
	◇ 小話 「先従隗始」		○ ○	○ ○		4
7 月	【1学期期末考査】 「すさまじきもの」「三船の才」「先従隗始」，古文単語325					1
	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 日記『更級日記』 「物語」	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ，文の構成にも注意しながら，口語訳に取り組む。 ・作品の全体像を押さえつつ，物語に耽溺した少女時代の思いを読み，味わう。 ・句法や単語に注意しながら，速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ，『史記』の魅力の一端を味わう。 	○ ○	○ ○		6
	◇ 『史記』 「鴻門之会」 (最初からP.35-11まで)		○ ○	○ ○		5
10 月	【2学期中間考査】 「物語」「鴻門之会」(最初からP.35-11まで)，古文単語325					1
	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」 (最初からP.65-7まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ，文の構成にも注意しながら，口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。 	○ ○	○ ○		10
11 ・ 12 月	◇ 『史記』 「鴻門之会」 (P.35-11から最後まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・句法や単語に注意しながら，速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ，『史記』の魅力の一端を味わう。 	○ ○	○ ○		5
	◇ 「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・項羽の心情を読み取り，故事成語の成り立ちを知る。 	○ ○	○ ○		6
12 月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」「鴻門之会」「四面楚歌」，古文単語325					1
1 ・ 2 ・	○ 物語『源氏物語』 「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の全体像を押さえつつ，若紫との出会いを読み，3年次の「萩の露」につながる伏線を作っていく。 ・和歌を味わいながら，関連する古典世界につなげる。 	○ ○	○ ○		10
	○ 詩歌「八代集の世界」		○ ○	○ ○		7

3 月	◎ 古今集 553 ◎ 新古今集 1136	◎ 小町の「夢の歌三首」を鑑賞する。 ◎ 『伊勢物語』第4段を読みつつ、本歌取りを理解する。				
3 月	【学年末考査】 「若紫」 「古 553, 新古 1136」, ニューエイジ 24・25, 古文単語 325					

※『古文単語 325』のミニテストを毎週行います。実施予定日は別紙。

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	古典探究	対象	進学 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)			出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「新装二訂 ニューエイジ古典 必修2」 (第一学習社), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」 (数研出版)				

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方, 感じ方, 考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方, 感じ方, 考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	春休みの課題				○	
4 ・ 5 月	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートの取り方に助言を行う。				1
	○ 問題演習	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	【基礎学力 到達度テスト】					1
	○ 説話 「小野篁、広才のこと」	・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し、口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを、展開に即して読み味わう。	○	○		5
	【1学期中間考査】 「小野篁、広才のこと」、5月連休課題、古文単語325					1
5 ・ 6 ・ 7 月	○ 随筆『枕草子』 「宮に初めて参りたる ころ」	・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して、口語訳する。 ・日記的章段の特徴を押さえつつ、初宮仕え時における清少納言の緊張感・感性・観察眼の鋭さを味わう。	○	○		7
	◇ 小話 「先従隗始」	・しっかり訓読し、使役・抑揚・反語等の句法を意識する。 ・たとえ話を的確にとらえることで、結論を読み取る。	○	○		3
7 月	【1学期期末考査】 「すさまじきもの」「三船の才」「先従隗始」、古文単語325					1
8 月	【スタディー・サポート】					1
8 ・ 9 ・ 10 月	○ 日記『更級日記』 「物語」	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ、文の構成にも注意しながら、口語訳に取り組む。 ・作品の全体像を押さえつつ、物語に耽溺した少女時代の思いを読み、味わう。	○	○		5
	◇ 『史記』 「鴻門之会」 (最初からP.35-11まで)	・句法や単語に注意しながら、速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ、『史記』の魅力の一端を味わう。	○	○		4
10 月	【2学期中間考査】 「物語」「鴻門之会」(最初からP.35-11まで)、古文単語325					1
	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」 (最初からP.65-7まで)	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ、文の構成にも注意しながら、口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。	○	○		7
11 ・ 12 月	◇ 『史記』 「鴻門之会」 (P.35-11から最後まで)	・句法や単語に注意しながら、速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ、『史記』の魅力の一端を味わう。	○	○		3
	◇ 「四面楚歌」	・項羽の心情を読み取り、故事成語の成り立ちを知る。	○	○		3
12 月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」「鴻門之会」「四面楚歌」、古文単語325					1
1 ・ 2	○ 物語『源氏物語』 「若紫」	・作品の全体像を押さえつつ、若紫との出会いを読み、3年次の「萩の露」につながる伏線を作っていく。	○	○		7

・ 3 月	○ 詩歌「八代集の世界」 ◎ 古今集 553 ◎ 新古今集 1136	・和歌を味わいながら、関連する古典世界につなげる。 ◎ 小町の「夢の歌三首」を鑑賞する。 ◎ 『伊勢物語』第4段を読みつつ、本歌取りを理解する。	○	○		5
3 月	【学年末考査】 「若紫」 「古 553, 新古 1136」, ニューエイジ 24・25, 古文単語 325					

※『古文単語 325』のミニテストを毎週行います。実施予定日は別紙。

※ 学習の状況により、進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	古典探究	対象	特進 (文系) コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)		出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「三訂版 プロGRESS 古文総演習 標準 編」 (いっずな書店), 「三訂版 プロGRESS 漢文総演習 標準編」 (いっずな書店), 「四訂版 体系 古典文法 準拠ノート」 (数研出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	4月課題	別途連絡。 ※基礎学力到達度テスト対策			○	
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。ノートを取り方に助言を行う。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 説話 「小野篁、広才のこと」	・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し、口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを、展開に即して読み味わう。	○	○		1 4
5月	5月連休課題	別途連絡。			○	
	「小野篁、広才のこと」 続き	・上記事項を踏まえ、口語訳に取り組む。十二支の確認。	○	○		4
	【1学期中間考査】 「小野篁、広才のこと」，5月連休課題，古文単語325					1
6月	○ 随筆『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」	・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して、口語訳する。 ・日記的章段の特徴を押さえつつ、初宮仕え時における清少納言の緊張感・感性・観察眼の鋭さを味わう。	○	○		8
	◇ 小話 「先従隗始」	・しっかり訓読し、使役・抑揚・反語等の句法を意識する。 ・たとえ話を的確にとらえることで、結論を読み取る。	○	○		4
	6月課題	別途連絡。			○	
7月	【1学期期末考査】 「宮に初めて参りたるころ」，「先従隗始」，古文単語325					1
8月	夏休み課題	別途連絡。			○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 日記『更級日記』 「物語」	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ、文の構成にも注意しながら、口語訳に取り組む。 ・作品の全体像を押さえつつ、物語に耽溺した少女時代の思いを読み、味わう。	○	○		6
	◇ 『史記』 「鴻門之会」	・句法や単語に注意しながら、速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ、『史記』の魅力の一端を味わう。	○	○		5
	9月課題	別途連絡。			○	
10月	【2学期中間考査】 「物語」「鴻門之会」，古文単語325					1
	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ、文の構成にも注意しながら、口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。	○	○		8
	10月課題	別途連絡。			○	
11月	◇ 『史記』 「鴻門之会」	・句法や単語に注意しながら、速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ、『史記』の魅力の一端を味わう。	○	○		4
	◇ 「四面楚歌」	・項羽の心情を読み取り、故事成語の成り立ちを知る。	○	○		4

12月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」 「鴻門之会」 「四面楚歌」, 古文単語 325					1
1・2月	○ 物語『源氏物語』 「若紫」	・作品の全体像を押さえつつ, 若紫との出会いを読み, 3年次の「萩の露」につながる伏線を作っていく。 ・和歌を味わいながら, 関連する古典世界につなげる。	○	○		8
	○ 詩歌「八代集の世界」 ◎ 古今集 ◎ 新古今集		○	○		6
	1・2月課題	別途連絡。			○	
3月	【学年末考査】 「若紫」 「和歌」, 古文単語 325					1
	春休み課題	別途連絡。			○	

※『古文単語 325』の小テストを毎週行います。実施予定日は別紙。

※ 学習の状況により, 進度・内容等を変更することがあります。

国語科 2年 古典探究 年間授業計画 (シラバス)				
科目名	古典探究	対象	特進 (理系) コース	単位数 2 単位
教科書	精選古典探究 (古文編, 漢文編)		出版社	東京書籍
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」, 「同 漢文編」, 「新総合 国語図説」 (ともに東京書籍) 「新要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策 ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「三訂版 プロGRESS 古文総演習 標準 編」 (いっぴな書店), 「三訂版 プロGRESS 漢文総演習 標準編」 (いっぴな書店), 「四訂版 体系 古典文法 準拠ノート」 (数研出版)			

1 学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な「国語の知識や技能」を身に付けるとともに、我が国の「伝統的な言語文化に対する理解」を深める。
- ② 「論理的に考える力」や「深く共感したり豊かに想像したりする力」を伸ばし、古典作品などを通して「先人のものの見方、感じ方、考え方に触れること」で、自分の思いや考えを広げ深める。
- ③ 「言葉や様々な作品がもつ価値」への認識を深めることで、生涯にわたって自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、それを踏まえ他者や社会に関われる態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けようとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばそうとし、古典作品などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方を受容し、それにより自分の考えや思いを伝える力を高め、他の意見を聞きながらその力を広げ深めている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使っている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4月	4月課題	別途連絡。 ※基礎学力到達度テスト対策			○	
	○ ガイダンス 予習復習体験学習	・2年次の学習を見通し、授業や基礎学力到達度テストに対する目標を持つ。				1
	○ 問題演習 【基礎学力到達度テスト】	・「基礎学力到達度テスト」対策として、問題演習を行う。	○	○	○	2
	○ 説話 「小野篁，広才のこと」	・敬語・接続助詞・「なむ」に注意し、口語訳に取り組む。 ・説話の面白さを、展開に即して読み味わう。	○	○		1 2
5月	5月連休課題	別途連絡。			○	
	「小野篁，広才のこと」	・上記事項を踏まえ、口語訳に取り組む。十二支の確認。	○	○		3
	【1学期中間考査】 「小野篁，広才のこと」，5月連休課題，古文単語325					1
6月	○ 随筆『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」	・重要単語や敬語・その他の重要文法事項に注意して、口語訳する。 ・日記的章段の特徴を押さえつつ、初宮仕え時における清少納言の緊張感・感性・観察眼の鋭さを味わう。	○	○		7
	◇ 小話 「先従隗始」	・しっかり訓読し、使役・抑揚・反語等の句法を意識する。 ・たとえ話を的確にとらえることで、結論を読み取る。	○	○		3
	6月課題	別途連絡。			○	
7月	【1学期期末考査】 「宮に初めて参りたるころ」，「先従隗始」，古文単語325					1
8月	夏休み課題	別途連絡。			○	
	【スタディー・サポート】					1
9月	○ 日記『更級日記』 「物語」	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ、文の構成にも注意しながら、口語訳に取り組む。 ・作品の全体像を押さえつつ、物語に耽溺した少女時代の思いを読み、味わう。	○	○		5
	◇『史記』 「鴻門之会」	・句法や単語に注意しながら、速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ、『史記』の魅力の一端を味わう。	○	○		4
	9月課題	別途連絡。			○	
10月	【2学期中間考査】 「物語」 「鴻門之会」，古文単語325					1
	○ 随筆『徒然草』 「花は盛りに」	・様々な重要文法事項や単語を押さえつつ、文の構成にも注意しながら、口語訳に取り組む。 ・自然や人事に対する見方・考え方を読み味わう。	○	○		7
	10月課題	別途連絡。			○	
11月	◇『史記』 「鴻門之会」	・句法や単語に注意しながら、速読に努める。 ・歴史的背景を踏まえ、『史記』の魅力の一端を味わう。	○	○		3
	◇「四面楚歌」	・項羽の心情を読み取り、故事成語の成り立ちを知る。	○	○		3
12月	【2学期期末考査】 「花は盛りに」 「鴻門之会」 「四面楚歌」，古文単語325					1

1 ・ 2 月	○ 物語『源氏物語』 「若紫」	・作品の全体像を押さえつつ、若紫との出会いを読み、 3年次の「萩の露」につながる伏線を作っていく。	○	○		7
	○ 詩歌「八代集の世界」 ◎ 古今集 ◎ 新古今集	・和歌を味わいながら、関連する古典世界につなげる。	○	○		5
	1・2月課題	別途連絡。			○	
3 月	【学年末考査】 「若紫」 「和歌」 , 古文単語 325					
	春休み課題	別途連絡。			○	

※『古文単語 325』の小テストを毎週行います。実施予定日は別紙。

※ 学習の状況により、進捗・内容等を変更することがあります。

国語科 3年		論理国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	論理国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	精選論理国語		出版社 東京書籍		
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「新版三訂ニューエイジ現代文 完成3」(第一学習社), 「品詞別 頻出漢字マスター」(尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。</p> <p>② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画 ※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイダンス ●予習復習体験学習 <p>【基礎学力到達度テスト】</p> <p>1 言葉を再考する 「言語と記号」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校での学習や目標について理解する。 ・論理国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「言語と記号」の予習をする。 			○	2
		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉について論じた評論を読み、自分の考えを深める。 ・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。 	○	○	○	9

5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「言語と記号」					1
6	2近代という時代 「鏡の中の現代社会」	<ul style="list-style-type: none"> 近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 様々な異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。 	○	○	○	8
	言葉のトレーニング 「『へびににらまれたカエル』の生き残り戦略」	<ul style="list-style-type: none"> 研究の解説記事を読み、考える力を身につける。 文章を読んでまとめる力を身につける。 	○	○	○	3
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「鏡の中の現代社会」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習		○	○	○	2
	【基礎学力到達度テスト】					
10	5困難な時代に 「社会の壊れるとき —知性的であるとは —どういうことか」	<ul style="list-style-type: none"> 叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。 	○	○	○	7
	4他者のいる思考 「原始社会像の真実」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。 	○	○	○	5
11	6自己と社会 「抗争する人間」	<ul style="list-style-type: none"> 社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。 人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。 	○	○	○	8
	☆問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題に取り組む。 	○	○	○	5
12	【2学期期末考査】 「抗争する人間」 「社会の壊れるとき」 「原始社会像の真実」					1
	☆問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題に取り組む。 	○	○	○	2

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		論理国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	論理国語	対象	進学 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	精選論理国語		出版社	東京書籍	
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新版三訂ニューエイジ現代文 完成3」 (第一学習社), 「品詞別 頻出漢字マスター」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。</p> <p>② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画 ※評価の観点：a (知識・技能), b (思考・判断・表現), c (主体的に学習に取り組む態度)

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイダンス ●予習復習体験学習 <p>【基礎学力到達度テスト】</p> <p>1 言葉を再考する 「言語と記号」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校での学習や目標について理解する。 ・論理国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「言語と記号」の予習をする。 			○	2
		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉について論じた評論を読み、自分の考えを深める。 ・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。 	○	○	○	9

5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「言語と記号」					1
6	2近代という時代 「鏡の中の現代社会」	<ul style="list-style-type: none"> 近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 様々な異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。 	○	○	○	8
	言葉のトレーニング 「『へびににらまれたカエル』の生き残り戦略」	<ul style="list-style-type: none"> 研究の解説記事を読み、考える力を身につける。 文章を読んでまとめる力を身につける。 	○	○	○	3
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「鏡の中の現代社会」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習		○	○	○	2
	【基礎学力到達度テスト】					
10	5困難な時代に 「社会の壊れるとき —知性的であるとは —どういうことか」	<ul style="list-style-type: none"> 叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。 	○	○	○	7
	4他者のいる思考 「原始社会像の真実」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。 	○	○	○	5
11	6自己と社会 「抗争する人間」	<ul style="list-style-type: none"> 社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握する。 人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。 	○	○	○	8
	☆問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題に取り組む。 	○	○	○	5
12	【2学期期末考査】 「抗争する人間」「社会の壊れるとき」, 「原始社会像の真実」					1
	☆問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題に取り組む。 	○	○	○	2

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国 語 科 3 年		論理国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	論理国語	対象	特進 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	精選論理国語		出版社 東京書籍		
副教材	「精選論理国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「完成現代文3 大学入学共通テスト対策 改訂版」 (尚文出版), 「三訂新版 共通テスト対策 現代文完答22」 (尚文出版), 「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中完答11」 (尚文出版), 「品詞別 頻出漢字マスター」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。
- ② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・論理国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「言語と記号」の予習をする。			○	2
	1 言葉を再考する 「言語と記号」	・言葉について論じた評論を読み、自分の考えを深める。 ・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。	○	○	○	9
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「言語と記号」					1
6	2 近代という時代 「鏡の中の現代社会」	・近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 ・様々な異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。	○	○	○	8
	言葉のトレーニング 「『へびにこらまれたカエル』の生き残り戦略」	・研究の解説記事を読み、考える力を身につける。 ・文章を読んでまとめる力を身につける。	○	○	○	3
7	6月提出課題				○	
	【1学期期末考査】 「鏡の中の現代社会」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	5 困難な時代に 「社会の壊れるとき —知性的であるとは —どういうことか」	・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 ・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。	○	○	○	7
	4 他者のいる思考 「原始社会像の真実」	・筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。 ・時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。	○	○	○	5
	10月提出課題				○	
	【2学期中間考査】 「社会の壊れるとき」, 「原始社会像の真実」					1

11	6 自己と社会 「抗争する人間」	<ul style="list-style-type: none"> ・社会構造を分析する評論を読み，その内容を的確に把握する。 ・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し，人間に対する理解を深める。 	○	○	○	10
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	5
12	【2学期期末考査】 「抗争する人間」					1
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	特別 時間割

※学習状況により，進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「新版三訂ニューエイジ現代文 完成3」(第一学習社), 「品詞別 頻出漢字マスター」(尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・文学国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「平気—正岡子規」の予習をする。			○	2
	③詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。	○	○	○	9
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」					1
6	②小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	11
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	⑧小説3 「蠅」	・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、作品世界を味わう。 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。	○	○	○	8
	②小説1 「コンビニの母」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。	○	○	○	4
11	④随筆2 「クレールという女」	・随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。 ・長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。	○	○	○	6
	①随筆1 「国語から旅立って」	・随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。	○	○	○	4

	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	3
12	【2学期期末考査】	「クレールという女」, 「国語から旅立って」 「蠅」, 「コンビニの母」				1
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	2

※学習状況により, 進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	進学 (文系)	コース	単位数 2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新版三訂ニューエイジ現代文 完成3」 (第一学習社), 「品詞別 頻出漢字マスター」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・文学国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「平気—正岡子規」の予習をする。			○	2
	③詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。	○	○	○	9
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」					1
6	②小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	11
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	⑧小説3 「蠅」	・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、作品世界を味わう。 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。	○	○	○	8
	②小説1 「コンビニの母」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。	○	○	○	4
11	④随筆2 「クレールという女」	・随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。 ・長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。	○	○	○	6
	①随筆1 「国語から旅立って」	・随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。	○	○	○	4

	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	3
12	【2学期期末考査】	「クレールという女」, 「国語から旅立って」, 「蠅」, 「コンビニの母」				1
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	2

※学習状況により, 進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	進学 (理系)	コース	単位数 1 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新版三訂ニューエイジ現代文 完成3」 (第一学習社), 「品詞別 頻出漢字マスター」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法, 及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・文学国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「平気—正岡子規」の予習をする。			○	1
	③詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。	○	○	○	5
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」					1
6	②小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動、心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	6
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	⑧小説3 「蠅」	・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、作品世界を味わう。 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。	○	○	○	4
11	④随筆2 「クレールという女」	・随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。 ・長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。	○	○	○	4
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	2
12	【2学期期末考査】 「クレールという女」 「蠅」					1
	☆問題演習	・演習問題に取り組む。	○	○	○	1

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		文学国語		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	文学国語	対象	特進 (文系・理系) コース	単位数	2 単位
教科書	文学国語 出版社 東京書籍				
副教材	「文学国語 学習課題ノート」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「完成現代文3 大学入学共通テスト対策 改訂版」(尚文出版), 「三訂新版 共通テスト対策 現代文完答22」(尚文出版), 「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中完答11」(尚文出版), 「品詞別 頻出漢字マスター」(尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	●ガイダンス ●予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】	・高校での学習や目標について理解する。 ・文学国語の予習復習について具体的に学習する。 ・「平気—正岡子規」の予習をする。			○	2
	3 詩歌 「平気—正岡子規」	・俳句に関する評論を読み，詩歌の表現の特色を理解して味わう。 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え，人間と文学の関係について考える。	○	○	○	9
5	5月連休課題				○	
	【1学期中間考査】 「平気—正岡子規」					1
6	2 小説1 「檸檬」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え，そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動，心理を表現に即して読み取り，「檸檬」の持つ意味について考える。	○	○	○	11
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「檸檬」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	2
10	8 小説3 「蠅」	・多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み，作品世界を味わう。 ・視点の移動に注意しながら，描かれた場面や状況を読み取り，作品の主題について考える。	○	○	○	8
	2 小説1 「コンビニの母」	・小説における場面の描写を表現に即して捉え，そこに描かれた世界について考える。 ・登場人物の言動，心理を表現に即して読み取り，現代社会における人間関係について考える。	○	○	○	4
	10月提出課題				○	
	【2学期中間考査】 「蠅」，「コンビニの母」					1
11	4 随筆2 「クレールという女」	・随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し，感性や心情を豊かにする。 ・長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り，人間の生き方について考える。	○	○	○	8
	1 随筆1	・随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え，言葉と自分との	○	○	○	4

12	「国語から旅立って」	関わりについて考える。 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み, 言葉と自分との関係について考えを深める。				
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	3
	【2学期期末考査】 「クレールという女」, 「国語から旅立って」					1
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	特別 時間割

※学習状況により, 進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	スポーツ	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」(東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」(東京書籍), 「新総合 図説国語」(東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」(日栄社), 「漢文必携 五訂版」(桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」(尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」(数研出版), 「新版二訂 ニューエイジ古典 達成2+」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

① 評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

② 成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元 (●古文 ◇漢文)	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数	
			a	b	c		
4	ガイダンス 予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】 ●I部5随筆2 徒然草 「花は盛りに」	・高校での学習や目標について理解する。 ・古典探究の予習復習について具体的に学習する。 ・「花は盛りに」の予習をする。 ・随筆に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。			○	1 5	
	5月連休課題					○	
5	◇6思想3 諸子百家 「侵官之害」(『韓非子』) ●2日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき 世の中を」	・諸子百家の文章を読み，政治を巡る思想を読み取る。 ・諸子百家の思想を知り，ものの見方，考え方を豊かに する。 ・日記を読み，その作品の内容や特色について理解する。 ・日記を多面的，多角的な視点から捉え，考えを深める。	○	○	○	4 5	
	【1学期中間考査】 「花は盛りに」，「夢よりもはかなき世の中を」，「侵官之害」						1
6	◇5小説2 小説一二編 「桃花源記」 ●5評論 無名抄 「おもて歌のこと」 ●6作り物語3 落窪物語「姫君の苦難」	・小説に書かれた人々の思想や感情を捉え，ものの見方， 感じ方を豊かにする。 ・話の展開を捉え，そこに描かれている世界を読み味わ う。 ・和歌についての評論を読み，論旨を的確に捉える。 ・評論に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。 ・設定や構成などに着目しながら，作り物語の内容を 的確に捉える。 ・作り物語を読み，考えを広げる。	○	○	○	6 5 5	
	6月提出課題					○	
	【1学期期末考査】 「おもて歌のこと」，「姫君の苦難」，「桃花源記」						1
夏期休暇課題					○		
8	日大チャレンジ模試						1
9	基礎学力到達度テスト 過去問題演習 【基礎学力到達度テスト】 ●3作り物語2 源氏物語(二) 「萩の上露」(御法)	・作り物語を多面的，多角的な視点から読み，考えを 深める。 ・設定などに着目しながら登場人物の心情を捉え， 作品についての理解を深める。	○	○	○	3 8	
	10		◇7文2	○	○	○	8

	唐宋八大家の文章 「捕蛇者説」(柳宗元)	豊かにする。 ・筆者の価値観や問題意識について考察を深める。 ・当時の社会背景に注意して、読み味わう。				
11	●7 俳諧 「去来抄」(向井去来)	・俳論を読み、内容を的確に捉える。 ・俳諧を多面的、多角的な視点から捉え、言語文化についての理解を深める。	○	○	○	6
	●4 歴史物語2 大鏡(二) 「道長、伊周の競射」	・歴史物語を、背景に注意しながら読み、作品についての理解を深める。 ・藤原氏の人間関係を捉える。	○	○	○	5
	☆問題演習	・問題演習に取り組む。	○	○	○	4
12	【2学期期末考査】 「去来抄」, 「道長、伊周の競射」, 「萩の上露」, 「捕蛇者説」					1
	☆問題演習	・文学史, 古典常識等の知識の確認をする。	○	○	○	3

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	進学 (文系)	コース	単位数 4 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」 (数研出版), 「新版二訂 ニューエイジ古典 達成2+」 (第一学習社)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元 (●古文 ◇漢文)	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス 予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】 ●I部5随筆2 徒然草 「花は盛りに」	・高校での学習や目標について理解する。 ・古典探究の予習復習について具体的に学習する。 ・「花は盛りに」の予習をする。 ・随筆に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。			○	1
			○	○	○	5
5	5月連休課題				○	
	◇6思想3 諸子百家 「侵官之害」(『韓非子』) ●2日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき 世の中を」	・諸子百家の文章を読み，政治を巡る思想を読み取る。 ・諸子百家の思想を知り，ものの見方，考え方を豊かに する。 ・日記を読み，その作品の内容や特色について理解する。 ・日記を多面的，多角的な視点から捉え，考えを深める。	○	○	○	4
			○	○	○	5
	【1学期中間考査】 「花は盛りに」，「夢よりもはかなき世の中を」，「侵官之害」					1
6	◇5小説2 小説一二編 「桃花源記」 ●5評論 無名抄 「おもて歌のこと」 ●6作り物語3 落窪物語「姫君の苦難」	・小説に書かれた人々の思想や感情を捉え，ものの見方， 感じ方を豊かにする。 ・話の展開を捉え，そこに描かれている世界を読み味わ う。 ・和歌についての評論を読み，論旨を的確に捉える。 ・評論に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。 ・設定や構成などに着目しながら，作り物語の内容を 的確に捉える。 ・作り物語を読み，考えを広げる。	○	○	○	6
			○	○	○	5
				○	○	○
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「おもて歌のこと」，「姫君の苦難」，「桃花源記」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 過去問題演習 【基礎学力到達度テスト】 ●3作り物語2 源氏物語(二) 「萩の上露」(御法)	・作り物語を多面的，多角的な視点から読み，考えを 深める。 ・設定などに着目しながら登場人物の心情を捉え， 作品についての理解を深める。	○	○	○	3
			○	○	○	8
				○	○	○
10	◇7文2	・筆者の主張を的確に捉え，ものの見方，考え方を	○	○	○	8

	唐宋八大家の文章 「捕蛇者説」(柳宗元)	豊かにする。 ・筆者の価値観や問題意識について考察を深める。 ・当時の社会背景に注意して、読み味わう。				
11	●7 俳諧 「去来抄」(向井去来)	・俳論を読み、内容を的確に捉える。 ・俳諧を多面的、多角的な視点から捉え、言語文化についての理解を深める。	○	○	○	6
	●4 歴史物語2 大鏡(二) 「道長、伊周の競射」	・歴史物語を、背景に注意しながら読み、作品についての理解を深める。 ・藤原氏の人間関係を捉える。	○	○	○	5
	☆問題演習	・問題演習に取り組む。	○	○	○	4
12	【2学期期末考査】 「去来抄」, 「道長、伊周の競射」, 「萩の上露」, 「捕蛇者説」					1
	☆問題演習	・文学史, 古典常識等の知識の確認をする。	○	○	○	3

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

国語科 3年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	進学 (理系)	コース	単位数 3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」 (数研出版), 「新版二訂 ニューエイジ古典 達成2+」 (第一学習社)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元 (●古文 ◇漢文)	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス 予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】 ●I部5随筆2 徒然草 「花は盛りに」	・高校での学習や目標について理解する。 ・古典探究の予習復習について具体的に学習する。 ・「花は盛りに」の予習をする。 ・随筆に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。			○	1
			○	○	○	5
5	5月連休課題				○	
	◇6思想3 諸子百家 「侵官之害」(『韓非子』) ●2日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき 世の中を」	・諸子百家の文章を読み，政治を巡る思想を読み取る。 ・諸子百家の思想を知り，ものの見方，考え方を豊かに する。 ・日記を読み，その作品の内容や特色について理解する。 ・日記を多面的，多角的な視点から捉え，考えを深める。	○	○	○	4
			○	○	○	5
	【1学期中間考査】 「花は盛りに」，「夢よりもはかなき世の中を」，「侵官之害」					1
6	◇5小説2 小説一二編 「桃花源記」 ●5評論 無名抄 「おもて歌のこと」 ●6作り物語3 落窪物語「姫君の苦難」	・小説に書かれた人々の思想や感情を捉え，ものの見方， 感じ方を豊かにする。 ・話の展開を捉え，そこに描かれている世界を読み味わ う。 ・和歌についての評論を読み，論旨を的確に捉える。 ・評論に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。 ・設定や構成などに着目しながら，作り物語の内容を 的確に捉える。 ・作り物語を読み，考えを広げる。	○	○	○	6
			○	○	○	5
			○	○	○	5
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「おもて歌のこと」，「姫君の苦難」，「桃花源記」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 過去問題演習 【基礎学力到達度テスト】 ●3作り物語2 源氏物語(二) 「萩の上露」(御法)	・作り物語を多面的，多角的な視点から読み，考えを 深める。 ・設定などに着目しながら登場人物の心情を捉え， 作品についての理解を深める。	○	○	○	3
			○	○	○	8
			○	○	○	8
10	◇7文2	・筆者の主張を的確に捉え，ものの見方，考え方を	○	○	○	8

	唐宋八大家の文章 「捕蛇者説」(柳宗元)	豊かにする。 ・筆者の価値観や問題意識について考察を深める。 ・当時の社会背景に注意して、読み味わう。				
11	●7 俳諧 「去来抄」(向井去来)	・俳論を読み、内容を的確に捉える。 ・俳諧を多面的、多角的な視点から捉え、言語文化についての理解を深める。	○	○	○	6
	●4 歴史物語2 大鏡(二) 「道長、伊周の競射」	・歴史物語を、背景に注意しながら読み、作品についての理解を深める。 ・藤原氏の人間関係を捉える。	○	○	○	5
	☆問題演習	・問題演習に取り組む。	○	○	○	4
12	【2学期期末考査】 「去来抄」, 「道長、伊周の競射」, 「萩の上露」, 「捕蛇者説」					1
	☆問題演習	・文学史, 古典常識等の知識の確認をする。	○	○	○	3

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

国語科 3年		古典探究		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	古典探究	対象	特進 (文系・理系) コース	単位数	3 単位
教科書	精選古典探究 (古文編・漢文編)		出版社 東京書籍		
副教材	「精選古典探究 学習課題ノート 古文編」 (東京書籍), 「精選古典探究 学習課題ノート 漢文編」 (東京書籍), 「新総合 図説国語」 (東京書籍), 「新・要説文語文法 五訂新版」 (日栄社), 「漢文必携 五訂版」 (桐原書店), 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325 改訂版」 (尚文出版), 「四訂版 体系古典文法 準拠ノート」 (数研出版), 「改訂版 プロGRESS古典総演習 発展編」 (いっずな書店), 「三訂新版 共通テスト対策 古典完答 2 2」 (尚文出版)				

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり養う。</p> <p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使用するとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け適切に使おうとするとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で生涯にわたる社会生活における他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって古典に親しもうとする態度を養い、言葉を効果的に使おうとする。
評価の方法	定期考査 学力テスト 小テスト 授業観察	定期考査 学力テスト 小テスト ワークシート 授業観察	学習課題 ワークシート ノート 授業観察

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能），b（思考・判断・表現），c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学習単元 (●古文 ◇漢文)	主な学習内容と到達目標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	ガイダンス 予習復習体験学習 【基礎学力到達度テスト】 ●I部5随筆2 徒然草 「花は盛りに」	・高校での学習や目標について理解する。 ・古典探究の予習復習について具体的に学習する。 ・「花は盛りに」の予習をする。 ・随筆に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。			○	1
			○	○	○	5
5	5月連休課題				○	
	◇6思想3 諸子百家 「侵官之害」(『韓非子』) ●2日記2 和泉式部日記 「夢よりもはかなき 世の中を」	・諸子百家の文章を読み，政治を巡る思想を読み取る。 ・諸子百家の思想を知り，ものの見方，考え方を豊かに する。 ・日記を読み，その作品の内容や特色について理解する。 ・日記を多面的，多角的な視点から捉え，考えを深める。	○	○	○	4
			○	○	○	5
	【1学期中間考査】 「花は盛りに」，「夢よりもはかなき世の中を」，「侵官之害」					1
6	◇5小説2 小説一二編 「桃花源記」 ●5評論 無名抄 「おもて歌のこと」 ●6作り物語3 落窪物語「姫君の苦難」	・小説に書かれた人々の思想や感情を捉え，ものの見方， 感じ方を豊かにする。 ・話の展開を捉え，そこに描かれている世界を読み味わ う。 ・和歌についての評論を読み，論旨を的確に捉える。 ・評論に表れているものの見方，感じ方，考え方を ふまえて，考えを深める。 ・設定や構成などに着目しながら，作り物語の内容を 的確に捉える。 ・作り物語を読み，考えを広げる。	○	○	○	6
			○	○	○	5
				○	○	○
	6月提出課題				○	
7	【1学期期末考査】 「おもて歌のこと」，「姫君の苦難」，「桃花源記」					1
	夏期休暇課題				○	
8	日大チャレンジ模試					1
9	基礎学力到達度テスト 問題演習 【基礎学力到達度テスト】		○	○	○	3
	●3作り物語2 源氏物語(二) 「萩の上露」(御法)	・作り物語を多面的，多角的な視点から読み，考えを 深める。 ・設定などに着目しながら登場人物の心情を捉え， 作品についての理解を深める。	○	○	○	8
10	◇7文2	・筆者の主張を的確に捉え，ものの見方，考え方を	○	○	○	8

	唐宋八大家の文章 「捕蛇者説」(柳宗元)	豊かにする。 ・筆者の価値観や問題意識について考察を深める。 ・当時の社会背景に注意して、読み味わう。				
	10月提出課題				○	
	【2学期中間考査】 「萩の上露」, 「捕蛇者説」					1
	●7 俳諧 「去来抄」(向井去来)	・俳論を読み、内容を的確に捉える。 ・俳諧を多面的、多角的な視点から捉え、言語文化についての理解を深める。	○	○	○	6
11	☆共通テスト対策演習		○	○	○	1 2
12	【2学期期末考査】 「去来抄」					1
	☆共通テスト対策演習		○	○	○	特別 時間割

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。